



場面 12

ゆうひが しずむ うみべに スナメリは、
たつくと ゆみちゃんを、おくりとどけて
くれました。

うみへ もどる スナメリを みおくった
ところで―

(たつくん)

「あ、ペットボトルが おちている。」

たつくんが すなはまに おちていた
ペットボトルを ひろいました。

(たつくん)

「これは ごみばこに すてよう。」

(ゆみちゃん)

「そうね。うみのために できることを
すこしずつでも いいから しましょう。」

またいつか

あの たくさんの さかなたちが くらす
アマモの もりを

このうみで みられることを ねがいながら、
たつくと ゆみちゃんは、
おうちへ かえりました。

(おしまい)



△ 演じ方 △

(落ちているペット
ボトルに気がつく
まで) 少し間をおく